

政治学科

2012

整理番号 No	科目名 Course Name	学期 Term	配当年次・単位 Student Year(s)・Credit(s)	担当教員 Professor
124	政治学演習 (笹田栄司)	通年	3年以上：4単位	笹田 栄司 政政・経演・国演

副題
Subtitle

現代の司法

授業概要
Course Description

行政や国会に比べ変わるのことがなかった司法制度は、20世紀末に始まる改革によって大きく変容した。また、消極的と批判されることの多かった違憲審査も司法制度改革や憲法改正論議を経て積極的な動きを見せている。本演習は、近年、注目されることの多い司法について、法学、政治学、そしてメディアなどによる分析を検討することによって、司法制度の現状と問題点を把握することを狙いとする。まず、司法に強い関心を持っていることが重要である。司法についての知見が段階的に獲得できるよう演習プログラムを構成していくので、現時点での司法についての知識は問わない。演習の前半は、授業計画に挙げている教科書から割当てられたテーマの研究報告を受講生が行い、その報告に基づいて、全員で討論する。後半は、司法についての関心に応じて各自が自由にテーマを決め、研究報告を行う。

授業の到達目標
Objectives

司法制度の重要な柱である違憲審査制・最高裁判所・裁判官制度、近年導入された裁判員制度・検察審査会、そして裁判への影響が批判されている司法行政などについて、制度の概要及びその問題点を理解するとともに、関連する資料を調査し、自分の考えをまとめ、発表し、討論する能力の向上を目指す。

授業計画
Course Schedule

第1回：開講に当たって
第2回：市川・酒巻・山本『現代の裁判』第5版を読む
第3回：市川・酒巻・山本『現代の裁判』第5版を読む
第4回：市川・酒巻・山本『現代の裁判』第5版を読む
第5回：市川・酒巻・山本『現代の裁判』第5版を読む
第6回：市川・酒巻・山本『現代の裁判』第5版を読む
第7回：山口・宮地『最高裁の暗闘』を読む
第8回：山口・宮地『最高裁の暗闘』を読む
第9回：山口・宮地『最高裁の暗闘』を読む
第10回：山口・宮地『最高裁の暗闘』を読む
第11回：新藤『司法官僚』を読む
第12回：新藤『司法官僚』を読む
第13回：新藤『司法官僚』を読む
第14回：新藤『司法官僚』を読む
第15回：前半の理解度の確認
第16回 - 第29回：受講生と相談の上決定したテーマについて、各自報告する。
第30回：まとめ 期末レポートの講評

教科書
Textbook(s)

市川正人・酒巻匡・山本和彦『現代の裁判』第5版（有斐閣、2008年）、山口進・宮地ゆう『最高裁の暗闘』（朝日新書、2011年）、新藤宗幸『司法官僚』（岩波新書、2009年）

参考文献
Reference Book(s)

笹田栄司『司法の変容と憲法』（有斐閣、2008年）、木佐茂男他『テキストブック現代司法』第5版（日本評論社、2009年）

評価方法 Evaluation	割合 (%) Percent (%)	評価基準 Description
試験 Examination(s)	%	
レポート Report(s)	50 %	
平常点評価 Class Participation	50 %	
その他 Other	%	

備 考
Note

憲法を未履修のゼミ生は、三年次に必ず履修すること。

関連URL
URLs for References